

IoTによるものづくり現場の生産性向上に向けた取り組み

参加費
無料

日時

平成29年9月15日(金)

13:30~16:00(講演者との名刺交換会含む)

会場

常陽つくばビル 10階 大会議室

茨城県つくば市吾妻1-14-2

製造業は、人材不足、省力化、多品種少量生産への対応、高付加価値化などの課題を抱えており、その解決方法としてAIやIoTの導入が注目されています。そこで今回は、中小製造業の従業員がIT化を独力で実現することを目的に産総研が開発したMZ Platformなど、産総研の生産性向上に関する最新の研究動向を紹介するほか、模擬スマート工場を整備した茨城県工業技術センターの中小製造業におけるIoT・ロボット導入に向けた支援の取り組み、株式会社三友製作所のIoT技術による生産工程の見える化の取り組みを紹介します。皆様お誘いあわせの上、お越しください。

プログラム

「現場目線のシステム作り 中小企業のIoT導入支援の取り組み」

澤田 浩之 氏

国立研究開発法人産業技術総合研究所 製造技術研究部門 総括研究主幹

IoTが話題ですが、中小企業では、導入を進めにくいという面もあります。情報化支援ツールやモデル工場構想等、現場目線に基づいたIoT導入支援の取り組みを紹介します。



澤田 浩之(さわだ ひろゆき)

(国立研究開発法人産業技術総合研究所
製造技術研究部門 総括研究主幹)

[プロフィール]
1989年機械技術研究所入所。2001年より中小製造業のIT化支援研究に従事し、ITシステム構築ツールMZ Platformの開発と普及活動を担当。
Ph. D.

「生産性向上に向けたIoT・ロボット活用支援の取り組み」

若生 進一 氏

茨城県工業技術センター 技術基盤部門 部門長

労働人口の減少に伴い、製造現場において大きな課題となっている省力化や効率化を技術的に支援するため、当センターが取り組んでいる内容について、ご紹介いたします。



若生 進一(わこう しんいち)

(茨城県工業技術センター
技術基盤部門 部門長)

[プロフィール]
1995年入庁。1999年より茨城県工業技術センターに所属し、組込み技術の研究開発に取り組む。現在、技術基盤部門長として中小企業のIoT・ロボット活用支援を展開中。

「IoT技術を活用したMC・NCの見える化」

加藤木 克也 氏

株式会社三友製作所 代表取締役

部品加工を行っている工場に於いて、多種類の工作機械をネットワークで繋ぎ、一元管理することで、様々な業務改善に結び付けてきている状況について紹介します。



加藤木 克也(かとうぎ かつや)

(株式会社三友製作所 代表取締役)

[プロフィール]
1974年(株)日立製作所に入社、工業計器製品の設計業務に従事。1981年(株)三友製作所に入社、1995年代表取締役に就任現在に至る。2006年茨城県工業技術研究会会長に就任。

会場アクセス

会場

常陽つくばビル(10階大会議室)

所在地：茨城県つくば市吾妻1-14-2

交通案内

【お車をご利用の方】

常磐道「桜土浦IC」、
圏央道「つくば中央IC」より
約15分



【電車をご利用の方】

つくばエクスプレス
「つくば駅」A3出口から
徒歩5分

※お車でお越しの場合には周辺駐車場をご利用ください(銀行の駐車場はご利用いただけません)。尚、駐車料金はお客様にてご負担くださいますようお願いいたします。



お申し込み・お問い合わせ

お申し込み方法：参加を希望される方は、事前にメールまたはFAXにて下記までお申し込みください。

「IoTによるものづくり現場の
生産性向上に向けた取り組み」

参加申し込み書

会社名／団体名		
所在地／住所		
電話番号		
メールアドレス		
お名前	所属・役職	氏名
	所属・役職	氏名
	所属・役職	氏名

※定員は100名です。先着順に受け付けいたします。

※ご記入いただいた情報は、国立研究開発法人産業技術総合研究所、株式会社常陽銀行、つくば市、一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構が取得・管理し、次の目的のみに使用いたします。
1. 本イベントに関する連絡 2. 上記4者からのイベントの案内

【お申し込み・お問い合わせは下記のいずれかまで】

■国立研究開発法人産業技術総合研究所 業務推進支援部(担当:柴田)

電話: 029-861-2964 FAX: 029-861-2179 メール: tsukuba-innovation-ml@aist.go.jp

■株式会社常陽銀行 地域協創部(担当:齊藤)

電話: 029-300-2855 FAX: 029-300-2606